



東北大学

平成 20 年11月11日

報道機関各位

東北大学大学院生命科学研究科

国際生物学賞受賞記念講演会を仙台で初めて開催

このたび、東北大学大学院生命科学研究科におきまして、日本学術振興会と共催で今年度の国際生物学賞受賞者、デイビッド ティルマン博士(ミネソタ大学教授)を招いて、一般市民を対象にした受賞記念講演会を仙台で初めて開催することになりました。また関連事業としまして専門家による国際シンポジウム「Ecology for the Changing World」も開催いたしますので、併せてお知らせいたします。

第 24 回**国際生物学賞** 記念講演会

「生物多様性:保全する理由とそれによりもたらされるもの」

デイビッド ティルマン博士(ミネソタ大学教授)

【日時】2008年12月10日(水)17:30-19:00(開場17:00)

【場所】仙台国際センター(仙台市青葉区)

【定員】200名(同時通訳あり) 参加無料(事前申込制、先着順)

【講演会参加申し込み方法】12月3日(水)までに、下記のウェブサイトから、又は Fax でお申し込み下さい。

○ ウェブサイト：<http://memo.biology.tohoku.ac.jp/gcoe/tilman/>

○ Fax：022-795-3638

タイトルは「生物多様性講演会申込」でお願い致します。

お名前、ご連絡先(ご所属・ご住所・お電話番号又は e-mail アドレス)をお知らせ下さい。

国際生物学賞について

国際生物学賞は、昭和天皇御在位 60 周年および長年にわたる生物学への御研

究を記念して、昭和 60 年（1985）に創設された賞であり、また、本賞の発展に寄与されている今上天皇の長年にわたる魚類分類学(ハゼ類)の御研究を記念し、今後の生物学の更なる発展を図るものです。受賞者は生物学分野で優れた業績を挙げ、世界の学術の進歩に大きな貢献をした研究者が毎年選ばれております。国際生物学賞では、受賞を記念して一般市民を対象にした記念講演会を東京もしくは京都で開催してきましたが、今年度は初めて仙台で記念講演会を開催することになりました。

今年度の国際生物学賞の受賞者は、生物の種間競争や生物多様性について理論と実証的研究を先導してきた生態学者であるデイビッド_ティルマン博士(ミネソタ大学教授)です。授賞式は 12 月 8 日(月)に日本学士院(東京)で行われますが、授賞式にあわせての記念講演会を上記のように開催します。記念講演会は一般市民を対象にしたもので、同時通訳付です。生物多様性に興味のある方々の参加を歓迎いたします。

デイビッド ティルマン博士と講演内容

今回受賞される第 24 回国際生物学賞の他、アメリカ生態学会マッカーサー賞、アメリカ植物学会創設百年記念賞、プリンストン環境賞などを受賞。デイビッド・ティルマン博士（G. David Tilman）は、生物の種間競争や生物多様性の基礎理論と実証研究で現代生態学を先導し、その研究を通じて人間活動に対する多様な生物の存在とそれを支える生態系機能の重要性を指摘してきました。特に、生態学の中心課題である以下の問いかけに大きな成果をあげています。

- * なぜ生態系ではいくつもの競合する種が進化し共生してきたのか？
- * 人間活動はこの生物多様性をどのように脅かしているのか？
- * 生物多様性の喪失により、社会を支えている生態系サービスにどのような影響が出るのか？
- * 生物多様性の保全や再生によって人間社会はどのような利益を得るのか？

今回の記念講演会では、これらの問いかけに対するティルマン博士の最新の研究成果を易しく紹介していただきます。

関連行事

今回の受賞を記念し、デイビッド ティルマン博士の専門分野である生態学の

将来と社会への役割について、専門家（研究者・学生）を対象にした、国内外の著名な生態学者・進化生物学者による下記のシンポジウムを仙台で併せて開催します。

Memorial Symposium of the 24th **international Prize for Biology**

「Ecology for the Changing World」

【日時】 2008年12月10日(水)、11日(木)

【場所】 仙台国際センター（仙台市青葉区）

詳細はシンポジウムのウェブサイトをご覧ください。

<http://memo.biology.tohoku.ac.jp/gcoe/ipb/index.html>

〔この件に関するお問い合わせ先〕


東北大学大学院生命科学研究科教授

占部城太郎 電話：022-795-6681

〔シンポジウム開催に関するお問い合わせ先〕

東北大学生態適応グローバル COE 支援室

電話：022-795-3637



第24回国際生物学賞受賞者
デイビッド・ティルマン博士
記念講演会

生物多様性


保全する理由とそれによりもたらされるもの

The Causes, Consequences and Conservation of Biodiversity

- 2008年12月10日(水)17:30~19:00 (開場 17:00)
- 仙台国際センター(仙台市青葉区)
- 定員 200名、同時通訳あり
- 参加費無料(事前登録制、先着順)

※ 下記のホームページから12月3日(水)までに事前登録を行ってください。

<http://memo.biology.tohoku.ac.jp/gcoe/tilman>



第24回国際生物学賞受賞者 デイビッド・ティルマン博士

ミネソタ大学 生態行動進化学教室 教授 (Regents' Professor & McKnight Presidential Chair in Ecology)

今回受賞される第24回国際生物学賞の他、アメリカ生態学会マッカーサー賞、アメリカ植物学会創設百年記念賞、プリンストン環境賞などを受賞。デイビッド・ティルマン博士は、生物の種間競争や生物多様性の基礎理論と実証研究で現代生態学を先導し、その研究を通じて人間活動に対する多様な生物の存在とそれを支える生態系機能の重要性を指摘してきました。特に、生態学の中心課題である以下の問いかけに大きな成果をあげています。

- (1) なぜ生態系ではいくつもの競合する種が進化し共生してきたのか?
- (2) 人間活動はこの生物多様性をどのように脅かしているのか?
- (3) 生物多様性の喪失により、社会を支えている生態系サービスにどのような影響が出るのか?
- (4) 生物多様性の保全や再生によって人間社会はどのような利益を得るのか?

講演会では、これらの問いかけに対するティルマン博士の最新の研究成果を易しく紹介していただきます。

オーガナイザー: 中静透 (東北大学), Val H Smith (カンザス大学), 河田雅圭 (東北大学), 占部城太郎 (東北大学)
主催: 日本学術振興会(JSPS), 東北大学大学院生命科学研究所, グローバルCOE「環境激変への生態系適応に向けた教育研究」

連絡先: 東北大学グローバルCOE「環境激変への生態系適応に向けた教育研究」

Tel 022-795-3637, Fax 022-795-3638



Memorial Symposium
Celebrating Dr. David Tilman
Recipient, the 24th International Prize for Biology

Ecology for the Changing World

Topics:

- Molecular Ecology and Evolutionary Biology
- Biological Interactions and Community Processes
- Structures, Functions and Services of Ecosystems

December 10 (Wednesday) and 11 (Thursday), 2008
Sendai International Center (Sendai, Japan)

Guest speakers:

Brendan Bohannan
(University of Oregon)

Satoshi Chiba
(Tohoku University)

John A. Downing
(Iowa State University)

Takema Fukatsu
(AIST)

Helmut Hillebrand
(University of Oldenburg)

Marcel Holyoak
(University of California, Davis)

Nancy C. Johnson
(Northern Arizona University)

Susam S. Kilham
(Drexel University)

Hiroko Kurokawa
(Yokohama National University)

Martin Lascoux
(Uppsala University)

Michael Lynch
(Indiana University)

Tadashi Miyashita
(University of Tokyo)

Yuji Nagata
(Tohoku University)

Naohiko Ohkouchi
(JAMSTEC)

Hideaki Shibata
(Hokkaido University)

Val H. Smith
(Kansas University)

Robert W. Sterner
(University of Minnesota)

Yohey Terai
(Tokyo Institute of Technology)

Shigeo Yachi
(Kyoto University)

Symposium URL:

<http://memo.biology.tohoku.ac.jp/gcoe/ipb>

Organizers: Toru Nakashizuka (Tohoku), Val H Smith (Kansas), Masakado Kawata (Tohoku), and Jotaro Urabe (Tohoku)
Sponsored by Japan Society for Promotion of Science (JSPS), Tohoku University,
and the global COE program "Center for Ecosystem Management Adapting to Global Change"

Contact: GCOE Ecosystem Adaptation; Tel +81-(0)-22-795-3637; Fax +81-(0)-22-795-3638